

台東育英

VOL. 21 台東区立台東育英小学校

No. 6 校長 瀬下 清

<http://www.taitocity.net/taidoukuei-s/>

エールウィーク ～ありのままを認めること～

副校長 原 之雄

台東区では9月を「第1期エールウィーク」として、子供自身がありのままの自分の良さや可能性に気づき、自己肯定感を高められるよう、周りの大人がサポートしていこう、と呼びかけました。我々大人は、ややもすると「かくあるべき理想」と「今ある現実」を比べ、現実を理想に何とんでも近づけようとして、かえって子供に息苦しい思いをさせてしまうことがあります。

かつて私がある学校の1年生の担任をしていた時、こんなことがありました。夏休み中の登校日、校庭にある雑草取りをしていた時のことです。ある子供が私に質問をしました。「タンポポがたくさん生えているけど、全部取っちゃうの？」タンポポは確かに花だけドグランドにとっては雑草だし…と思いつつ、「じゃあ半分くらい残しておこうか」と言うと、その子供は嬉しそうに、「そうだよ、全部取ったら、チョウチョさんが困っちゃうものね」と何の街いもなく返してきたのです。自分には全くなかった発想に、思わずその子供の顔を凝視してしまいました。

子供の中に大人を見出そうとしない、子供は小さな大人ではなく、独自の世界をもち、その時にしか感じられないもの、学べないことをたくさんもっている…これはエメールの骨子でもあります。その時以来、大人の尺度で子供を判断することに一種の恐れを抱きました。

さて、台東育英の子供たちはどうでしょう。先日1年生が隣の柳北公園に秋の生き物探しに行きました。皆、虫籠をもってやる気満々です。が、整備が行き届き、たくさんの利用者がいる公園のこと、虫らしい虫などいません。いるのはアリとダンゴムシくらい。もっと自然の豊かな場所が近くにあれば、と思っていると…。子供たちはそのアリとダンゴムシに大興奮なのです。落ち葉にアリを誘導し落ち葉ごと得意そうに虫籠に入れる子、「先生見て見て！」とアサガオの自生する場所に連れて行き、自分が育てたアサガオとの違いを説明する子、「ダンゴムシ4匹とったぞー」と雄叫びをあげる子、まさに「今」を、そして「この場所」を楽しむ子供たちの姿がありました。その良さを誉めない手はありません。「よかったね！」「すごいね！」自己肯定感の第一歩は周りの大人からの承認です。自分に自信がもてると自分自身を大切に、同時に他者を大切にしようとするようになります。こんなに素敵な子供たちの、ありのままの姿を認められる学校、地域、大人でありたいと思った一日でした。

【今後の時差登校について】

緊急事態宣言延長に伴い、9月末日までの時差登校へのご理解とご協力をいただきましたこと、誠にありがとうございました。

10月4日以降の時差登校につきましては、緊急事態宣言の解除が正式に発表されましたら、通常の登校方法とさせていただきます。その際は、改めて配信メール（クロモ）にて、お知らせをさせていただきます。

悩みや不安に寄り添うこと

生活指導部 阿部 裕介

新型コロナウイルス感染症の影響により、日常生活の様々な場面での活動が制限される中、多くの子供たちが、いつもとは違った不安やストレス、悩み等を抱え込んでいることが考えられます。子供がそうした気持ちを内に秘め、考え込んでしまうと、心や体に様々な影響が出る場合があります。そうした環境の中で大切なことは、子供の変化に気付くことです。学校では、どんな小さなことでも、心配なことや悩んでいることがあれば身近にいる信頼できる大人に相談することを指導しています。加えて、子供たちの変化を見逃さないよう常に声掛けし、様子を窺うことで、子供の SOS のサインに気付くようにしています。

不安や悩みを一人で抱えてしまい、思いつめて自分を傷つけてしまう子供を決して出さないよう、ご家庭でもお子様に普段とは違う様子や、小さな変化がないか見守りをお願いいたします。

また、子供が安心して毎日を過ごすためには、保護者自身の気持ちが安定していることが大切です。お子様に対するご家庭での対応に困った時、どこの誰に相談してよいか迷った時には、遠慮なく学校へご相談ください。そして、ご家庭でお子様へ「がんばってるね」「よくやったね」と声を掛けるのと同じく、ご自身へもそうしたエールを送り、自分を労っていただきたいと思っております。

学校と保護者とが連携して子供の悩みや不安に寄り添っていけるよう、ご協力をお願い申し上げます

体育発表会

体育部 坂倉 実

保護者の皆様には、毎日の体育着の準備や体調管理にご協力いただきましてありがとうございます。

保護者の皆様には、体育発表会が延期となってしまい、大変ご迷惑をお掛けしております。今年度も新型コロナウイルス感染防止のため、例年とは形を大きく変えての実施となります。しかし、会の形が変わっても、皆で心をついに、当日に最高の演技をすることを目指して努力する姿は、例年と何ら変わりはありません。

楽しんで練習をする低学年の姿。上手くできないところの練習に励み、アドバイスし合い、できたときに共に喜ぶ高学年の姿。今年開催されたオリンピックもそうですが、スポーツや運動を通して、見ている人に感動を与えるのは、ひたむきな努力が伝わるからではないでしょうか。当日は、達成感や満足感にあふれた表情が全校児童にも見られるよう、各学年、本番直前まで全力を尽くしてまいります。

当日も、学年ごとの入場時間や一家庭ごとの人数制限などご協力をお願いすることとなります。体育発表会の安全な実施のためにも、どうぞよろしく願いいたします。

終わった後には「よく頑張ったね」とたくさん褒め、話を聞いてあげてください。



体育発表会の見どころ



<1年>

小学校に入学して初めての体育発表会です。右も左も分からない中、練習が始まりました。意欲的に練習しています。

表現「フレフレ2021」では、ダンスを見ている人たちが楽しくなるように、笑顔いっぱい、可愛さいっぱいで踊ります。応援団の代わりに、見ている皆様を元気にします。1年生58人が元気いっぱい、体いっぱいで表現する姿を、ぜひ、ご覧ください。

<2年>

元気いっぱい！やる気満々！の2年生。そんな2年生が挑戦するのは、山形県の伝統芸能「花笠音頭」です。夏の東北四大祭りの一つとして有名です。「はあ～、やっしょ～、まかしょ」の大きな掛け声とともに、腰を落として、大きく笠を動かすことを心がけて練習してきました。カラフルな花をあしらった手づくりの花笠で、校庭いっぱいに美しい光景を広げます。一人一人の素敵な笑顔から、楽しく心を通い合わせる様子を、ぜひ、ご覧ください。

<3年>

中学年となり、心身ともに大きく成長した3年生の子供たちです。

表現「エクスプレスJAPAN」では、「銀河鉄道999」の曲で踊ります。この曲は、子供たちが未来に向かって駆け抜ける様子をイメージして作ったそうです。元気いっぱいの3年生にぴったりです。日本に古くから伝わるよさこい祭りで使われている鳴子を鳴らし、パワー全開でヒップホップを踊ります。祭りと現代曲のMIXで、3年生が日本を元気にします。隊形移動やエンディングパフォーマンスにも注目です。ぜひ、お楽しみください。

<4年>

高学年の仲間入りをした元気いっぱいな4年生。今年は、「ロック音頭八木節」に挑戦します。八木節とは、栃木・群馬に伝わる米の豊作を祈った民謡です。稲穂のように心も体もぐんぐん成長している4年生。コロナ禍で世のお祭りが縮小、延期となっている中、どこのお祭りよりも熱い演技を台東育英小学校の校庭でお送りします。心を一つにして踊る姿をどうぞお楽しみください。

見てくださる方々のHEARTに“Rock” on”できるように頑張ります。

<5年>

「エイサー」は、沖縄県と鹿児島県奄美群島でお盆の時期に踊られてきた伝統芸能です。今回踊る『ダイナミック琉球』は、アップテンポなリズムと、動静のめりはりのある力強い動きが魅力の踊りです。「難しいけれど、皆で踊ったら絶対にかっこいい！」と、慣れないリズムや体の動かし方を体に染み込ませながら、一生懸命練習しています。パーランクという小太鼓も手作りしました。五年生の真剣な表情とダイナミックな踊りを、どうぞお楽しみください。

<6年>

6年生は、『Hopeful future』希望に満ちた未来に向けて、小学校生活の最後として相応しい演技を目指して練習してきました。集団行動では、リズムを感じ、気持ちを合わせて動くことを意識して取り組みました。全員の心を一つにして、これまでお世話になったすべての方への感謝の気持ち、創立20周年を盛り上げる気持ちを表現します。また、金管バンドや育英太鼓にも参加します。様々な場面で活躍する6年生に注目してください。